

水土里レポート 投稿様式

投稿月日	平成27年11月13日
タイトル	みんなでサツマイモを収穫したよ！
水土里レポーター名	水土里ネット福山 佐々田 愛

平成27年10月30日（金）福山市多治米町の福山市立多治米保育所の児童が、多治米保育所と隣接するほ場でサツマイモを収穫しました。6月8日にみんなで植えたサツマイモは、水土里ネット福山の組合員を代表に、地域の老人会の方がお世話をしてくださり立派に成長して収穫を迎えることができました。

子ども達全員で、お世話になっている老人会の皆さんに挨拶をし、小さい組の子どもから収穫を始めました。



老人会のみなさんは「家に小さな子どもがおらんけえ、ここで一緒に畑ができて楽しいし、みんなかわいいんよ。」と目を細めておられました。

畑は、子ども達が収穫しやすいようにサツマイモの葉や茎を切り、土が乾いて固いので、鍬をいれて準備されていました。

子どもと老人会の方が向い合せに座って芋掘りをします。子どもが引っ張ればすぐ抜けるように、丁寧にスコップや手で土を掻き分けてくださいました。

小さな子どもの中には、土にさわるのを躊躇う子もいましたが、すぐに慣れてツルや芋を次々に引っ張って収穫していきました。まさに芋ずる式にサツマイモが取れて子ども達も誇らしげに見せてくれました。大きい組の子ども達は、自分達で土を掻き分けて収穫し「焼芋が早く食べたいな」とか「包丁で切るんよ！」とクッキングをするのを楽しみにしているようでした。



子ども全員の収穫が終わると取り残しが残らないか全部掘り起こして見ていただきました。結構沢山できて、1つも無駄にならないようにしておられました。

今年は、昨年に比べてやや小さかったようですが、約1,000個の芋が収穫できました。収穫した芋は、園庭に「おおきいおも」「ちいさいおも」に分けて並べられました。このサツマイモは子ども達が持ち帰ったり、後日焼芋パーティーやクッキングで使われるそうです。芋を並べていた子どもに聞いたら「今日はお家でお友達と一緒に焼芋して食べるんよ」と教えてくれました。



サツマイモがいっぱいです！



手が真っ黒！ゴシゴシ洗います！

収穫が終わると、遊戯室で年長組が老人会の方に感謝の気持ちを伝えることになりました。年長組の子ども達から「真っ赤な秋」の歌と折り紙で作った首飾りのプレゼントが渡されました。サツマイモの植付けや収穫、日頃のお世話に対し、大きな声で「ありがとうございました」とお礼を言いました。



それぞれテーブルに子どもと老人会の方が座って、収穫したばかりのサツマイモを蒸かして出してくださり、一緒にいただきながら話をしました。



子ども達は「サツマイモのツルで手が汚れて石鹸で洗ってもなかなかきれいにならなかったこと、芋がいっぱいとれたこと、カエルがいたこと」など、目を輝かせて話してくれました。老人会の方も「そうかそうか」と優しい笑顔で話を聞いておられました。

子ども達の話は普段の様子になり「年長組はもうお昼寝をしないこと、4月に1年生になるから準備をしていること、何色のランドセルを買ってもらった」などいっぱいお話してくれました。最後は、みんなでもう一度「ありがとうございました」とお辞儀をして会を終わりました。



サツマイモを食べながら話が弾みます！



みんなのお辞儀、とっても可愛らしい！

お話をしてすっかり打ち解けてくれて、帰る時には「イエーイ！」とハイタッチをしてくれました。

子どもも老人会の方もみんなが笑顔になった収穫でした。次回は焼芋パーティーを取材したいと思います。